

堺 アルフォンス・ミュシャ館が鑑賞教育ツール「Mu-CUBE」を小学校等に貸出します ーキューブ型パズルで主体的・対話的な美術鑑賞をサポートー

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、関西大学総合情報学部の堀雅洋ゼミと連携し、主に小学校における鑑賞授業での活用を想定したパズル型鑑賞教育ツール「Mu-CUBE」を開発しました。アルフォンス・ミュシャの主要作品の絵柄を用いたキューブ型のパズルを、堺市内を中心とする各学校に無償貸出することで、地域ゆかりの西洋美術の鑑賞をサポートします。



キューブ型パズル「Mu-CUBE」

Mu-CUBE (ミュキューブ) とは？

■ 概要

地域の美術館（Mu-seum）が所蔵するミュシャ（Mu-cha）の作品をマルチ（Mu-Iti）にたのしめるキューブ（CUBE）型パズル。絵の細部に注目しながらピースを合わせていくことで、主体的な作品鑑賞が可能。また、2名以上のグループで使用することで、対話型鑑賞も実践できます。「Mu-CUBE」による鑑賞をきっかけに、美術館での実物鑑賞への興味・関心を高めることを目的としています。

■ 開発背景

平成29年度に改訂された新小学校学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が推進され、図画工作の鑑賞指導についても、地域の美術館などの利用・連携が求められています。そこで堺市が世界有数のコレクションを所蔵するミュシャの作品を、堺市内の児童が気軽に鑑賞できるツールが必要という思いから、開発を行いました。

■ ミュシャ館×関西大学

堺 アルフォンス・ミュシャ館では関西大学と連携し、テーマ展示「ミュシャ Labo」などの展示活動を行ってきました。その一環として、総合情報学部堀雅洋ゼミとの連携により、ミュシャの絵柄を用いたパズルを展示室に設置し、来館者に体験していただきました。さらに実際に小学校で児童に体験してもらうなど試作と評価を重ねた結果、このたび鑑賞教育ツール「Mu-CUBE」として活用いただけるようになりました。

開発：公益財団法人堺市文化振興財団／堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）、
堀雅洋（関西大学総合情報学部 教授）

■ 使用作品

ミュシャの代表的なポスター作品と装飾パネルを中心に、当館ならではの油彩画、ジュエリーも取り入れ、多彩な創作活動を行ったミュシャの作品のハイライト部分を網羅しました。1セットで計6作品の鑑賞が可能です。

■ 使用素材

キューブの素材は環境への配慮から、河内長野市産のヒノキの間伐材を使用しました。



使用作品《桜草》《羽根》

貸出について

■ 貸出開始日

- 令和5年8月25日（金）より随時
- ※申込は貸出日の1か月前より受付
- ※貸出期間は受取日より2週間（条件により延長可能）

■ 対象

- 堺市内を中心とする小学校などの教育機関
- ※推奨学年：小学校5年生以上

■ 貸出可能数量

- 1～20セット（絵柄は2パターン）
- ※1セットに含まれるもの：50mm角木製キューブ12ピース、外箱、留具

■ 貸出方法

- ①堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）での受け渡し
- ②郵送（着払い）

■ 申込方法

当館ホームページに公開する申込書に必要事項を記載のうえ、堺 アルフォンス・ミュシャ館へメール（mucha@sakai-bunshin.com）またはFAX（072-222-6116）でお申し込みください。

【HP】<https://mucha.sakai-bunshin.com/>



本体・外箱



使用イメージ

あわせて団体来館／出張授業をご活用ください

■ 団体来館

クラスまたは学年単位での団体来館、学芸員による解説も可能です。図工だけでなく遠足や総合学習などでもご利用ください。

■ 出張授業

堺 アルフォンス・ミュシャ館学芸員が学校にお伺いし、授業を実施することも可能です。レプリカやタペストリー等を使用しながら解説などを行うことで、より深い作品鑑賞をサポートします。また、団体来館前の事前学習としての実施も可能です。



タペストリーを使用した作品解説



「Mu-CUBE」を使用した授業風景

【アルフォンス・ミュシャについて】

19 世紀末のパリで一躍人気のポスター作家として才能を開花させたアルフォンス・ミュシャ（1860-1939）は、芸術様式アール・ヌーヴォーを代表する画家として広く知られています。

ミュシャのポスター作家としての成功は、稀代の女優サラ・ベルナール（1844-1923）との出会いにより、彼の名がパリ中に広まったことがきっかけです。

1900 年のパリ万国博覧会への出展を経て、後年には祖国チェコへの芸術的貢献を願い、大連作《スラヴ叙事詩》をはじめ、チェコの独立と平和を願った油彩画などを制作しました。


【堺市とミュシャの関連について】

堺 アルフォンス・ミュシャ館が所蔵するミュシャとその関連作家の作品約 500 点は株式会社ドイの創業者、土居君雄氏（1926-1990）の収集を基にしたものです。土居氏の没後に遺族によって堺市に寄贈されました。コレクションは、ミュシャのポスターや油彩画、素描や宝飾品など、世界有数を誇る体系的な作品で構成されています。

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、ミュシャの初期から晩年期にまでわたる作品を展示し、様々なテーマでその創作活動を紹介しています。

また、堺で生まれ育った情熱の歌人・与謝野晶子は、明治浪漫主義の文芸誌『明星』で活躍しました。『明星』の誌面では、ミュシャは「ムッカ氏」という名前で紹介されており、ミュシャの作品を思わせる挿絵が日本人画家によって描かれています。ミュシャは堺市にとって大変縁のある画家と言えます。

問 い 合 わ せ 先	（鑑賞ツールについて） 担 当：公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館） 電 話：072-222-7227 ファックス：072-222-6116
	（本市の文化振興について） 担 当 課：文化観光局 文化国際部 文化課 電 話：072-228-7143 ファックス：072-228-8174